

5月は一年の中でも、比較的気候が安定し、外出や人の活動量が増えやすい季節とされています。

新緑が広がり、気温もちょうどよく、過ごしやすい日が続く一方で、ゴールデンウィーク明けは生活リズムの変化により、疲れやだるさを感じやすい時期とも言われています。いわゆる「5月病」と呼ばれる状態が話題になることもあり、心身のバランスが揺れやすい季節とも考えられています。

こうした季節の変化を踏まえながら、無理のないペースで日々を過ごしていくことが大切かもしれません。

パイプシステム通信編集部

歩掛表の改定について

「令和8年度水道施設整備費に係る歩掛表」の技術管理費の中に以下の項目が追記され、**施工情報システムⅡの使用料**を計上することが認められました。

【水道工事において発注者が指定した方法等により品質管理を行う場合に用いる「特別な機器」に要する費用】



出展：国土交通省ホームページ

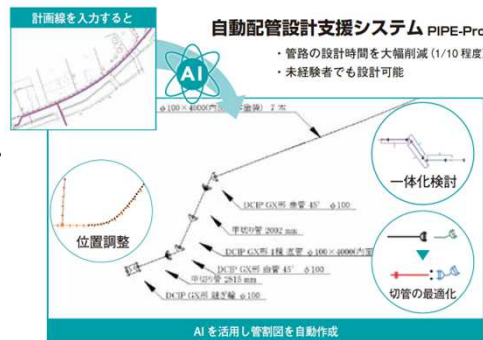
自動配管設計支援システム PIPE-Pro

職員不足の課題を抱えながら老朽化した水道管路の更新を促進する対策として、小規模簡易DB方式による工事発注を導入する事業者様が増えてきていますが、詳細設計業務を工事事業者様が担うことに不安を感じる事業者様もおられます。当社が開発した自動配管設計支援システム「PIPE-Pro」を工事事業者様が導入することで、詳細設計業務を支援できますので、水道事業者様は安心して概算数量設計による発注が可能となり、設計・積算業務の大幅な軽減が図れます。

一方、工事事業者様は工事受注後に現場条件に即した設計図面を自ら作成することで、設計変更による手戻りを最小限に抑え、円滑な工事進行が可能となります。

本システムにより、布設計画線上にIP点などの条件を入力するだけで、耐震継手ダクタイル鉄管等の高品質な管割図や設計書類を短時間で自動作成でき、一体化長さや切管の組合せも自動設定されます。これにより、設計経験が浅い工事事業者様でも小規模簡易DB方式の管路工事の受注機会拡大につながれます。

本システムにご興味がございましたら営業担当までご連絡ください。



GX形ダクタイル鉄管呼び径500 & 施工情報システムⅡの採用

at 大阪府河内長野市

〈ご発注者：河内長野市上下水道部〉

河内長野市の基幹管路の更新工事にGX形ダクタイル鉄管呼び径500を採用しました。ボルトの本数がNS形の半分で、管底部のボルトレスにより施工性が向上し、施工業者の評判も良かったです。何より配管作業の安全性が高まったことが良いと思います。

〈施工業者：株式会社メイテック〉

GX形呼び径500は、メタルタッチになり非常に施工管理しやすく、施工性も向上したことで夜間工事を従来より早く進めることが出来ました。

施工情報システムⅡは、書類作成の効率化になり、また初めてのGX形呼び径500の配管するのにガイド機能が役立ちました。熟練配管工が少なくなる中、これらICT機器の活用は今後不可欠になってくると思うので、効率化に繋がるものは積極的に活用していきたいです。



施工情報システムⅡを使用した呼び径500の配管状況

ウォーターパイプコム

at 京都市

京都市の山間地域では、寒波による給水管の破損などから漏水の発見が遅れると、配水池の水位が低下し、その区域一帯で断水が発生する恐れがあります。そのため、迅速な復旧に向けて、漏水箇所を早期に特定するための効率的な調査手法を確立することが課題となっていました。

そこで京都市上下水道局では、漏水疑い箇所の絞り込みを目的に、管内の流速や流量をクラウド上で遠隔監視できる「ウォーターパイプコム」を試験的に設置しました。

令和7年12月に運用を開始したところ、令和8年1月の漏水発生時に効果を確認できました。山間地域は配管が単一路線でも流量も少ないため、配水池出口の流量計と配水管の途中に設置した本装置の流量の変化を比較することで、漏水調査範囲を絞り込み、漏水箇所の早期特定に役立てることができました。

今後、管路維持管理部署の意見を参考に、ウォーターパイプコムの利便性をさらに向上させ、安定した給水体制につながることを期待しています。



〈京都市上下水道局〉